

2026(令和8)年度

文化学部 専門教育科目 「京都文化フィールド演習」 募集要項



本物に触れる



京都文化を体験



伝統行事等の運営・参加

「京都文化フィールド演習」について

教室での講義(座学)・学習と、京都の街中で実施するフィールドワークでの実践型演習とで構成する、京都文化学科独自のユニークな演習科目です。

学生ひとりひとりが京都の伝統行事や宗教神事の運営・参加、職人の工房・地場産業における現地実習、また社寺、遺跡などへの実地踏査を行います。

目の前のテーマに集中して取り組むことで、体験を通じて京都とその文化の一端を理解するとともに、地域社会の活性化に向けた思考・態度や観光事業への新たな視点の獲得を目指します。

日本文化・京都文化の真髄に触れ・体感し、真のおもてなしの心を身に付け、京都文化を自分の言葉で発信できる人になりましょう。

京都文化学科 必修科目 です。

いずれかのクラスを履修・修得しなければなりません。

▶クラス別一覧(申請書記入の際に必要です)

担当教員	クラス	開講期	曜日・時限	備考
小林 一彦	A	春学期	木・5	
熊野 貴文	B	春学期	火・4	
山本 雅和	C	秋学期	金・5	
川島 智生	D	秋学期	火・4	
田中 直子	E	春学期	木・4	
村上 忠喜	F	春学期	火・4	
マレス エマニュエル	G	秋学期	金・5	
彬子 女王	H	集中	集中	新2年次生以上対象のクラスです。 新1年次生は応募できません。 ※新2年次生で履修希望の学生は、 別途、POSTの案内を確認すること。
ペレッキア ディエゴ	J	春学期	金・5	
高橋 早紀子	L	春学期	木・4	
成田 智恵子	M	春学期	火・4	

申請

【申請方法】

WEBによる申請(パソコン、スマートフォン等、WEBが利用できる環境が必要です。)

※WEBによる申請が難しい場合は、3月18日(水)16:30までに下記、文化学部事務室に問い合わせください。

■「京都文化フィールド演習」申請

<https://forms.office.com/r/C5r5CUTKzM> ※リンク先は、申請期間中のみオープンします。



(WEB申請フォーム)

申請期間:2026(令和8)年3月11日(水)10:00~3月21日(土)12:00まで(厳守)

※申請期間後の申請及び内容変更は一切認めません。

【受講クラスの発表:2026(令和8)年4月1日(水)】

WEB履修登録画面で、登録されているフィールド演習のクラスが受講するクラスになります。

※詳細は、新入生オリエンテーションで説明します。

留意事項

(1) フィールドワーク実施に伴う支援

学外でのフィールドワーク1回の実施につき活動費を一部支援します。

受け取り方法等については、担当教員に確認してください。

(2) フィールドワーク実施に伴う拝観料等

実習・見学先等の拝観料・入場料等が必要な場合は、自己負担となります。

※「京都市キャンパス文化パートナーズ制度」の登録(無料)により、割引などの優待を受けることのできる文化施設等があります。

(3) 授業に関する連絡

フィールドワークの実施をはじめ授業に係る連絡事項は、原則、授業内で伝達します。ただし、突発的な注意事項や連絡事項等が生じた場合、電子掲示板POSTを通じて伝達しますので、1日1回は確認するようにしてください。

※電子掲示板POSTについては、新入生オリエンテーションで説明します。

《問い合わせ先》

京都産業大学 文化学部事務室

TEL:075-705-1941

Mail:bunka-jim@star.kyoto-su.ac.jp

受付時間等:月~金 9:00~16:30(13:00~14:00は除く)、土 9:00~12:00

※日・祝日は閉室しています。

※上記時間帯でも業務の都合により、急遽閉室することがあります。

【京都文化フィールド演習】

クラス	担当教員： 小林一彦 専門分野：日本古典文学および 社会人基礎力育成 X： 小林一彦ゼミ (@mrcb3kan)	<この京都文化フィールド演習の特徴> 1, 「祇園祭」で京都の奥深さを知る 2, 地域のイベントを盛り上げ、チームで働く力を身につける ◆YouTube「RE；君色に染めろ」 https://www.youtube.com/watch?v=UrQ07WCb3g4 22:30～紹介動画あり
A		
定員		
約 20 名		

【このような学生におすすめです】 ※授業の様子はX（旧 Twitter）、YouTube を参照

京都のフィールドに出て学ぶ、**イベント体験型授業**です。**半分は大学、半分は現場**。祇園祭では長刀鉾（なぎなたぼこ）とともに「くじ取らず」鉾 2 番の函谷鉾（かんこぼこ）、その運営に参加します。京都の中心、四条烏丸交差点の函谷鉾町はオフィス街で、夜間人口ゼロ、住民は一人もいません。地縁のある「通い町衆」の役員・地元の「企業町衆」のみなさんと連携協働、「学生町衆」の一員となり、**京産生が若い力で祇園祭を盛り上げます**。世界規模の祭礼イベントを、最前線で成功へと導くやりがいのある仕事です。京都の伝統をしっかりと継承し、未来へ伝えるノウハウを現場で学び、成長する。**世界で唯一のユニークな授業**です。

大きなイベントを動かすノウハウを1年生から勉強したい、伝統祭礼行事に関わりたい、ダイブな京都を学びたい、そんな人に強くおすすめします。社会の役に立ちたい人、みんなで何か大きなものを作り上げていくのが好きな人、お祭り好きな人。消極的な自分を変えたい、殻を破りたい、何かを成し遂げたい、目的意識を持って成長したい、そんな人も歓迎します。

【受講するうえで、守るべきこと】

毎年、あたたかく迎え入れて下さる函谷鉾町の皆様への感謝の気持ちを胸に、あいさつを忘れず、目上の人に対する言葉づかいにも気をつけて下さい。宗教神事ですから制約もあります。実習期間は黒髪になります（染め直せば問題ありません）。また身体にタトゥーが入っている、耳朶以外（鼻・舌など）にピアスのついている人は参加できません。喫煙不可（重要文化財周辺は消防法により禁煙）です。869年から続く祇園祭は、京都の誇り。保存会の皆さんが長らく守り伝えてきた神聖な祭です。体験させていただく、という謙虚な心が大事です。

【スケジュール】

○●印は鉾町での現地実習（○印の実習については保存会の都合により日程が変更になることもあります。●印は各自が日・時間帯を選び、無理のない範囲で参加して下さい）

- 4/ 9（木）大学、授業。祇園祭とは。
- 4/23（木）大学、授業。祇園祭と函谷鉾。祭礼のあれこれ、
- 5/14（木）大学、授業。保存会役員講話。 ★5/中旬 オンデマンド授業。
- 5/21（木）大学、授業。祇園祭の懸装品。函谷鉾検定
- 6/11（木）大学、授業。しきたり、覚えておくべきこと。函谷鉾検定（追試）
- 6/20（土）**祇園祭実習**、函谷鉾ビル。保存会の皆さんとの顔合わせ。祇園囃子練習見学。
- 6/25（木）大学、授業。シフト登録。
- 7/ 初旬 **祇園祭実習**、函谷鉾ビル。粽（ちまき）づくり（欠席でもOK）
- 7/ 9（木）大学、授業。祭の現場はどう動くのか。先輩からのレクチャー。
- 7/12（日）**祇園祭実習**、鉾の曳き初め。詳細は決まり次第連絡、四条烏丸交差点付近。
- 7/13（月）**祇園祭実習**、鉾町。8:30～22:30 の間で参加時間を自由に選択（欠席も可）
- 7/14（火）**祇園祭実習**、鉾町。8:30～22:30 の間で参加時間を自由に選択（欠席も可）
- 7/15（水）**祇園祭実習**、鉾町。8:30～22:30 の間で参加時間を自由に選択（欠席も可）
- 7/16（木）**祇園祭実習**、鉾町。8:30～22:30 の間で参加時間を自由に選択（欠席も可）
- 7/23（木）大学、学期末試験。

【注意事項・その他】

毎年、テレビ局・新聞社・ラジオ局などからの取材が多い授業です。報道されることを前提として参加して下さい。※活動の様子はゼミのX（旧 Twitter）で発信されます。

【実習にかかる費用】

不要。保存会Tシャツ（貸与）、実習中は昼食・夕食（時には夜食も）が提供されます。

【京都文化フィールド演習】

クラス	担当教員： 熊野 貴文 専門分野：人文地理学	＜この京都文化フィールド演習の特徴＞ この授業では、歴史都市であると同時に現代の大都市でもある「京都」という街がどのような地域から成り立っているのかについて、地理学の視点からまち歩きをしながら、考えていきます。
B		
定員		
約 15 名		

【このような学生におすすめです】

- ・旅やまち歩きが好きな人。
- ・京都の街が好きな人。
- ・NHK『ブラタモリ』が好きな人。
- ・知らない土地を歩いたり、街並みを観察したりするのが好きな人。
- ・地域づくりに関心がある人。

【受講するうえで、守るべきこと】

フィールドワークの実施日は、前後の講義の間の土曜日または日曜日に実施します。いずれも授業内で調整します。毎回のフィールドワークでは小レポートを書いてもらうので、ただ単に歩くだけでなく、教員の解説に耳を傾けながら、クリップボードなどを持参して自分なりの発見をメモするようにしてください。

【スケジュール】

- 第1回 イン트로ダクション
 - 第2回 講義1 京都の地理
 - 第3回 講義2 京都の街を構成する地域：洛東
 - 第4・5・6回 フィールドワーク①洛東（岡崎、百万遍、大文字山など）
 - 第7回 講義3 京都の街を構成する地域：「田の字地区」を中心とした都心部
 - 第8・9・10回 フィールドワーク②都心部（錦市場、三条大橋、四条烏丸など）
 - 第11回 講義4 京都の街を構成する地域：京都駅周辺
 - 第12・13・14回 フィールドワーク③京都駅周辺（京都駅、京都タワー、梅小路公園など）
 - 第15回 プレゼンテーション・授業のまとめ
- フィールドワークは現地での授業、それ以外の講義は教室での授業となります。

【注意事項・その他】

やむを得ず授業を欠席する場合は事前に連絡してください。フィールドワークが他の授業と重なる場合は相談してください。部分参加を認める場合があります。

フィールドワークでは大文字山に登ったり（大文字山は非常に登りやすいです）、京都のまちなかを歩いたりします。歩きやすい靴と十分な飲み物、冷却グッズを持参・購入してください。

【実習にかかる費用】

3回のフィールドワークで現地に向かうための交通費が必要になります。また、できるだけ無料の見学施設をめぐる予定ですが、博物館等の施設に入場する場合はその入場料が必要になります（ただし、入場料が1000円を超えるような施設には行きません。せいぜい数百円程度）。

【京都文化フィールド演習】

クラス	担当教員： 山本 雅和 専門分野：日本考古学	＜この京都文化フィールド演習の特徴＞ 各時代の京都の遺跡・史跡の現地踏査を通じて京都の歴史・文化を学ぶ。
C		
定員		
約 15 名		

【このような学生におすすめです】

- ・ガイド本には掲載されない京都の歴史・文化・遺跡・史跡などについて詳しく知りたい。
- ・歩くことが好き。
- ・地域における文化財の保護や活用の実践を学びたい。

【受講するうえで、守るべきこと】

- ・授業日直近の土曜日または日曜日に現地踏査（午前中の3時間程度）を4回実施する。
- ・現地踏査の詳細については授業中および moodle で連絡するので、現地踏査の前日までに集合場所・集合時間を確認しておくこと。
- ・現地踏査は活動しやすい良識ある服装で参加すること。

【スケジュール】

第1回 授業の概要を紹介。受講生による京都の歴史・文化についての意見交換。

第2回 京都の遺跡・史跡について概説する。

第3～5回 嵯峨野の古墳時代

第6～8回 平安宮（平安時代）

第9～11回 伏見の近世

第12～14回 御所と御所文化

※第3～14回は、①各フィールドの歴史・遺跡の概説（講義）→②現地踏査（現地見学）→③各フィールドの歴史・文化についての意見交換、の3回一組の授業で4つのフィールドについて学習する。各フィールドについてはレポートの提出を課題とする。

第15回 授業全体を総括して京都の遺跡・史跡について知識・認識を深める。

【注意事項・その他】

- ・現地踏査に同行できない場合は、個別に各フィールドを踏査して意見交換の授業に参加すること。踏査できなかった場合は、別に課題を出すことがある。
- ・演習科目なので5回以上の欠席は不合格とする。無断欠席厳禁（特に現地踏査）。

【実習にかかる費用】

- ・なし。

【京都文化フィールド演習】

クラス	担当教員： 川島智生 専門分野：建築史	＜この京都文化フィールド演習の特徴＞ ・実際に京都のいくつかの名建築の内部を見学して、空間体験をおこない、建物の意味を考えます。 ・町歩きをおこない、町並みと建物の関係性を体験します。
D		
定員		
約 12 名		
<p>【このような学生におすすめです】</p> <ul style="list-style-type: none">・京都の建築と町並みに興味がある人・京都の歴史に興味がある人・すまいの文化に関心がある人・インテリアや家具などのデザインが好きな人・建物と人、地域との関係について考えたい人・現地ならではの空間体験をしたい人 <p>【受講するうえで、守るべきこと】</p> <ul style="list-style-type: none">・この授業は秋学期火曜4限の授業ですが、フィールドワークの際の現地と大学との往復を勘案して、火曜日の3限及び5限はできる限り他の授業を入れないようにしてください。・土日にフィールドワークが入ることがあります。・見学先は文化財指定の由緒ある貴重な建物が多く、見学の際は周りに細心の注意を払い、家具や装飾品を破損しないようにしてください。・現地でのフィールドワークの詳細については授業中および掲示等で連絡するので、前日までに必ず集合場所・集合時間を確認すること。遅刻・早退は厳禁です。・時間厳守はもちろん、見学の際の関係者に敬意を払う態度で臨むことを心掛けてください。 <p>【スケジュール】</p> <p>1回:授業ガイダンス 2回:京都町の見方、建築の捉え方 京都歴史の見方 3・4・5回:第1回目の見学会 4.5時間を使い、京都観光の中心である東山界隈を見学 6回:第1回目の見学会で得られた知的好奇心の各自の発表 7・8・9回:第2回目の見学会 産業観光 候補としてニッシャ 10回:第2回目の見学会で得られた知的好奇心の各自の発表 11・12・13回:第3回目の見学会 高瀬川沿い(五條界隈・東華菜館) 14回:第3回目の見学会で得られた知的好奇心の各自の発表 15回:各自がみつけた心惹かれる町並みと建物の発表、振り返り</p> <p>【注意事項・その他】</p> <ul style="list-style-type: none">・グループで話し合う際には自分の意見をしっかり述べるとともに、他人の意見もしっかり聴くことが大事です。・各フィールド演習の後はレポートを作成することになります。・演習科目なので5回以上の欠席は不合格となります。 <p>【実習にかかる費用】</p> <ul style="list-style-type: none">・見学先の入場料が必要な場合があります。		

【京都文化フィールド演習】

クラス	担当教員：田中 直子 専門分野：文化財学・鑑賞教育	<この京都文化フィールド演習の特徴> 現在進行形で文化を伝え・まもり・つなぐ場の見学や、そこに携わる人の話しを通して、文化を多角的に学習し、グローバルな視野で文化財の魅力を見いだす。
E		
定員		
約 10 名		
<p>【このような学生におすすめです】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化財や文化の成立過程、変遷に興味・関心のある方。 ・歴史・美術・宗教を生きた文化として体験・発信したい方。 ・文化財を保存科学的（保存や継承について多角的）に学習したい方。 ・日本の文化の魅力を、グローバルな視点で見いだしたい方。 ・「文化ってなに？」と思っている方、一緒にフィールドで探究しましょう。 <p>【受講するうえで、守るべきこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集合時間 ・見学先は、世界文化遺産や文化財指定された所です。非公開の場を特別に見学する場合があります。貴重な機会となりますので、訪問先の文化や雰囲気を意識した服装、マナーに特に配慮して下さい。 ・訪問先へは文化財保護の姿勢、見学の際の周囲への細心の注意、そして文化をまもる方への敬意をもって臨んで下さい。 <p>【スケジュール】</p> <p>第1回 オリエンテーション 授業内容とスケジュールの確認。授業についての共通認識を形成する</p> <p>第2回 見学先の文化財の解説</p> <p>第3回 グループワーク・プレゼンテーション、フィードバック</p> <p>第4回～7回 フィールドワーク、現地特別講義</p> <p>第8回 グループワーク・プレゼンテーション、フィードバック</p> <p>★オンデマンド 代替としてフィールドワーク、現地特別講義</p> <p>第9回 グループワーク・プレゼンテーション、フィードバック</p> <p>第10～13回 フィールドワーク、現地特別講義</p> <p>第14回 プレゼンテーション、全体のまとめとふりかえり</p> <p>【注意事項・その他】</p> <p>フィールドワークの日程は以下の通りです（変更の可能性あり）。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5/17（日）：東大寺、東大寺ミュージアム（4コマ分） ・調整中： 株式会社岡墨光堂（1コマ分） ・6/28（日）重要文化財冷泉家住宅、京都御所（4コマ分） <p>【実習にかかる費用】</p> <p>見学日の必要経費（拝観料・入場料、および交通費や昼食代など）</p>		

【京都文化フィールド演習】

クラス	担当教員：村上忠喜 専門分野：日本民俗学	＜この京都文化フィールド演習の特徴＞ 京都の住まいの文化に着目して、町家や農家などの住まい方やその維持、そしてそれを下支えする生業や技術継承の現場に学ぶ。
F		
定員		
約 15 名		
【このような学生におすすめです】 京都の伝統的な生活文化、特に住まいと生業のかかわりについて、本気で調べたい、考えたい、そして感じたいと思っている学生さんにおすすめです。現代社会の中にしっかりと息づいている生活文化は、これからの「住まいの文化」にも大きな知見を与えてくれるでしょう。		
【受講するうえで、守るべきこと】 フィールドに出て相手と受け答えをすることが前提になりますので、時間厳守はもちろん、他者に敬意を払う態度で臨むことを心掛けてください。		
【スケジュール】 第1回 オリエンテーション 演習内容の説明年間スケジュールとイントロダクション 第2回 (講義) 京町家の歴史と民俗1 中世から近世にかけての京町家と町の移り変わりをみる。 第3回 ★(見学実習) 京町家 代表的な表屋造り京町家の実態と、現代の新たな維持管理体制の一形式を学ぶ。また山鉾町近辺の町と道と家の関係性について、通り、辻子、口ウジ、突抜を巡検して実感する。 第4回 (講義・グループワーク) 京町家の歴史と民俗2 第5回 (講義) 北山杉の育林技術 第6回 ★(見学実習) 北山杉の林業集落と山林景観の巡検を行い、林業家の収蔵施設見学、磨き丸太体験。(授業時間は180分) 第7回 (講義) 文化財の保存技術 第8回 ★(見学実習) 屋根工事の技術と檜皮葺体験 第9回 (講義) 京都府下の民家 第10回 ★(見学実習) 宇治の茶商住宅 生業による民家の相違を、南山城の農村民家、丹波の山村民家、丹後の漁村民家を例に考える。 第11回 (グループワーク) 生業による民家の違い1 第12回 (グループワーク) 生業による民家の違い2：グループワークの報告会 第13回 (見学実習) 大学近郊の民家：社家町、上賀茂の農家住宅の見学 第14回 (講義) まとめとふりかえり		
【注意事項・その他】 ★印の授業は、相手先の都合により、日程が変更される場合があります。また見学実習は、現地への往復時間を含めれば、授業時間内に収まるものではありませんので、各自スケジュールの調整を必要とします。		
【実習にかかる費用】 宇治の茶商住宅見学の際に300円入館料が必要。それ以外は基本的にはありませんが、一部交通費の往復が1000円を上回る場合があります。		

【京都文化フィールド演習】

クラス	担当教員： マレス エマニュエル 専門分野： 日本建築史・日本庭園史	<この京都文化フィールド演習の特徴> 京都の様々な庭を見学します。目で見るだけではなく、所有者や職人など実際に庭を維持管理されている人たちの話を聞きながら庭園の歴史やその変遷、また人間と自然の関係について考えます。																														
G																																
定員																																
約 15 名																																
<p>【このような学生におすすめです】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・京都の建築と庭園、風景に興味がある人。 ・京都の歴史に興味がある人。文化財に興味がある人。 ・植物や石など、自然が好きな人。 ・積極的に調べて、考えたい人。 ・人と自然の関係、環境問題について考えたい人。 <p>【受講するうえで、守るべきこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見学先は社寺や個人宅の歴史ある庭だったり、また職人の作業場だったりします。見学の際は周りに細心の注意を払い、案内してくれる人々に敬意を表しましょう。見学前の注意事項を必ず守りましょう。 <p>【スケジュール】</p> <table border="0"> <tr> <td>第1回 授業の導入：年間スケジュールと授業概要</td> <td>【大学】</td> </tr> <tr> <td>第2回 日本庭園のみかた 1:視覚で把握できるもの/こと</td> <td>【大学】</td> </tr> <tr> <td>第3回 フィールド演習</td> <td>【寂庵見学予定】</td> </tr> <tr> <td>第4回 フィールドを振り返り、得た情報や課題等を確認・共有</td> <td>【大学】</td> </tr> <tr> <td>第5回 日本庭園のみかた 2:聴覚で把握できるもの/こと</td> <td>【大学】</td> </tr> <tr> <td>第6回 フィールド演習</td> <td>【燕庵露路見学予定】</td> </tr> <tr> <td>第7回 フィールドを振り返り、得た情報や課題等を確認・共有</td> <td>【大学】</td> </tr> <tr> <td>第8回 日本庭園のみかた 3:臭覚で把握できるもの/こと</td> <td>【大学】</td> </tr> <tr> <td>第9回 フィールド演習</td> <td>【涉成園見学予定】</td> </tr> <tr> <td>第10回 フィールドを振り返り、得た情報や課題等を確認・共有</td> <td>【大学】</td> </tr> <tr> <td>第11回 日本庭園のみかた 4:動きを把握すること</td> <td>【大学】</td> </tr> <tr> <td>第12回 フィールド演習</td> <td>【西村石灯呂店見学予定】</td> </tr> <tr> <td>第13回 フィールドを振り返り、得た成果や課題等を確認・共有</td> <td>【大学】</td> </tr> <tr> <td>第14回 日本庭園のみかた 5:記録をすること</td> <td>【大学】</td> </tr> <tr> <td>第15回 授業のまとめと総括：日本庭園のみかたとは？</td> <td>【大学】</td> </tr> </table> <p>【注意事項・その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習の内容は、天候や演習先の事情により変更する場合がある。 ・各フィールド演習の後にはレポートを作成することになります。 <p>【実習にかかる費用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見学先の入場料 			第1回 授業の導入：年間スケジュールと授業概要	【大学】	第2回 日本庭園のみかた 1:視覚で把握できるもの/こと	【大学】	第3回 フィールド演習	【寂庵見学予定】	第4回 フィールドを振り返り、得た情報や課題等を確認・共有	【大学】	第5回 日本庭園のみかた 2:聴覚で把握できるもの/こと	【大学】	第6回 フィールド演習	【燕庵露路見学予定】	第7回 フィールドを振り返り、得た情報や課題等を確認・共有	【大学】	第8回 日本庭園のみかた 3:臭覚で把握できるもの/こと	【大学】	第9回 フィールド演習	【涉成園見学予定】	第10回 フィールドを振り返り、得た情報や課題等を確認・共有	【大学】	第11回 日本庭園のみかた 4:動きを把握すること	【大学】	第12回 フィールド演習	【西村石灯呂店見学予定】	第13回 フィールドを振り返り、得た成果や課題等を確認・共有	【大学】	第14回 日本庭園のみかた 5:記録をすること	【大学】	第15回 授業のまとめと総括：日本庭園のみかたとは？	【大学】
第1回 授業の導入：年間スケジュールと授業概要	【大学】																															
第2回 日本庭園のみかた 1:視覚で把握できるもの/こと	【大学】																															
第3回 フィールド演習	【寂庵見学予定】																															
第4回 フィールドを振り返り、得た情報や課題等を確認・共有	【大学】																															
第5回 日本庭園のみかた 2:聴覚で把握できるもの/こと	【大学】																															
第6回 フィールド演習	【燕庵露路見学予定】																															
第7回 フィールドを振り返り、得た情報や課題等を確認・共有	【大学】																															
第8回 日本庭園のみかた 3:臭覚で把握できるもの/こと	【大学】																															
第9回 フィールド演習	【涉成園見学予定】																															
第10回 フィールドを振り返り、得た情報や課題等を確認・共有	【大学】																															
第11回 日本庭園のみかた 4:動きを把握すること	【大学】																															
第12回 フィールド演習	【西村石灯呂店見学予定】																															
第13回 フィールドを振り返り、得た成果や課題等を確認・共有	【大学】																															
第14回 日本庭園のみかた 5:記録をすること	【大学】																															
第15回 授業のまとめと総括：日本庭園のみかたとは？	【大学】																															

【京都文化フィールド演習】

クラス	担当教員： ペレッキア ディエゴ 専門分野： 能楽	<この京都文化フィールド演習の特徴> この授業では、能の魅力あふれる世界へと足を踏み入れます。面・装束・音楽といった伝統芸術の奥深さを探究するとともに、能に登場する神秘的な人物像に触れることで、日本文化の核心に迫ります。
J		
定員		
約 15 名		

【このような学生におすすめです】

- * 舞台芸術に関心のある人。
- * 古典文学や神話が好きな人。
- * 謡や囃子の迫力を生で体感したい人。
- * 神秘的な能面や豪華な装束を間近で見たい人。
- * 想像力を働かせて、室町時代にタイムスリップしてみたい人。

【受講するうえで、守るべきこと】

グループワーク(公演鑑賞や工房見学)は、遅刻に気をつけましょう。事前・事後学習はしっかりと行なうこと。

【スケジュール】(下線の日は学外実習です)

- 第1回 4月10日(金) ガイダンス・能楽への入門
- 第2回 4月17日(金) 能楽師によるワークショップ
- 第3回 4月24日(金) 演目紹介《殺生石》
- ★オンデマンド回の代替として 4月26日(日) 公演鑑賞《殺生石》金剛能楽堂
- 第4回 5月1日(金) 公演鑑賞後の意見交換
- 第5回 5月15日(金) 工房見学 能扇 十松屋
- 第6回 5月22日(金) 演目紹介《翁》
- 第7回 5月29日(金) 演目紹介《杜若》
- 第8回 6月1日(月) 公演鑑賞 京都新能 平安神宮
- 第9回 6月12日(金) 工房見学 佐々木能衣装
- 第10回 6月19日(金) 演目紹介《鶺鴒》
- 第11回 6月28日(日) 公演鑑賞《鶺鴒》京都観世会館
- 第12回 7月3日(金) 工房見学 能面 宇高景子
- 第13回 7月10日(金) 公演鑑賞後の意見交換
- 第14回 7月17日(土) まとめ

【注意事項・その他】

公演鑑賞や工房見学は、学内授業と異なる日時に行うことがあります。他の授業や個人的な予定と重ならないよう、ご注意ください。

【実習にかかる費用】

- * 公演のチケットは受講生の個人負担となる。3回の公演を合わせて、一人につき約10,000円。
- * 交通費は学校側が一部支援する。

【京都文化フィールド演習】

クラス	担当教員： 高橋 早紀子 専門分野： 日本美術史	<この京都文化フィールド演習の特徴> 「能楽おもしろ講座」、呈茶席（和菓子・抹茶付）、唐紙やお線香を作る体験（当日持ち帰り）と工房・工場見学、美術館・博物館・寺社での日本美術の鑑賞といったフィールドワークを通して、五感（視覚・聴覚・触覚・味覚・嗅覚）で京都の文化・芸術の神髄を学び、その魅力や意義について考察します。
L		
定員		
約 15 名		
<p>【このような学生におすすめです】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・京都の文化・芸術に興味・関心のある方 ・五感（視覚・聴覚・触覚・味覚・嗅覚）で京都の文化・芸術の神髄を学びたい方 ・京都の文化・芸術の魅力や意義に対する多角的視点や多様な問題意識を育みたい方 <p>【受講するうえで、守るべきこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集合時間および体験・鑑賞マナー <p>【スケジュール】</p> <p>第1回 オリエンテーション 授業内容やスケジュールを確認し、授業についての共通認識を形成します。</p> <p>第2～12回 フィールドワーク フィールドワークを通して五感で京都の文化・芸術の神髄を学び、その魅力や意義について考察します。</p> <p>第13・14回 プレゼンテーション 課題レポートに基づいてプレゼンテーションを行い、京都文化に対する多角的視点や多様な問題意識を醸成します。</p> <p>★オンデマンド 当該年度開催の展覧会 当該年度開催の展覧会を取り上げ、概要や見どころについての解説をオンデマンド授業で行います。オンデマンド授業は、約90分の動画を4月30日までにTeamsで配信します。</p> <p>【注意事項・その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フィールドワークの予定（変更の可能性あり）は、下記の通りです。 4/18（土）：京からかみ体験工房唐丸、京菓子資料館、河村能舞台 5/17（日）：東大寺、奈良国立博物館（2コマ分） 5/31（日）：京都国立博物館（2コマ分） 6/11（木）：松栄堂（2コマ分） 6/25（木）：茶道総合資料館 ・フィールドワークの費用（8,500円+交通費）は、自己負担とします。 ・授業実施日については、フィールドワークの日程を含め、初回授業時に通知します。 <p>【実習にかかる費用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フィールドワークの費用（8,500円+交通費） 		

【京都文化フィールド演習】

クラス	担当教員：成田 智恵子	<この京都文化フィールド演習の特徴> 京都の伝統産業に関連する工房やミュージアムを訪問します。伝統工芸品やその制作工程、職人の技能を直に観察し、京都の伝統産業に内在する知恵について学びます。
M		
定員		
約 15 名		

【このような学生におすすめです】

- ・ 京都の伝統産業、手仕事、職人に興味がある人
 - ・ 人々の願いを支えるものづくりに興味がある人
- 本演習ではまず京都市の伝統産業について幅広く学びます。その後、木工芸・金属工芸・漆工芸等の様々な工芸技術を駆使した総合工芸品である仏壇・仏具、信仰の対象となる仏像、そして日本独自の漆工芸の加飾技法である蒔絵について学びます

【受講するうえで、守るべきこと】

- ・ 学びの対象に興味関心と敬意を持って受講してください
- ・ 授業内で意見交換や質疑応答等を行いますので、積極的かつ自律的な行動を求めます
- ・ 必ず時間を守り、自己管理に努めてください

【スケジュール】

第1回	4/14	(火)	ガイダンス [大学]
第2回	4/21	(火)	京都の伝統産業 概論1 [大学]
第3回	4/28	(火)	京都の伝統産業 概論2 [大学]
第4回	5/2	(土)	フィールドワーク1 [演習・京都伝統産業ミュージアム]
第5回	5/8	(金)	講義 [大学]
第6回	5/12	(火)	講義 [大学]
第7回	5/16	(土)	フィールドワーク2 [演習・京仏壇・京仏具製作所/東本願寺見学]
第8回	5/26	(火)	講義 [大学]
第9回	6/2	(火)	講義 [大学]
第10回	6/6	(土)	フィールドワーク3 [演習・仏像彫刻工房]
第11回	6/16	(火)	講義 [大学]
第12回	6/30	(火)	講義 [大学]
第13回	7/4	(土)	フィールドワーク4 [演習・京蒔絵工房]
第14回	7/14	(火)	講義 [大学]



【注意事項・その他】

- ・ フィールドワーク先では、許可なく撮影・録音をしてはいけません
- ・ 工芸品を扱うため、学外演習時は時計やアクセサリ、ネイル等を付けることはできません
- ・ 第7回フィールドワーク2はオンデマンド授業の代替を含む2コマ分の授業として実施します
- ・ フィールドワークは原則土曜日に行う等、変則日程になりますのでご注意ください

【実習にかかる費用】

- ・ 第4回：京都伝統産業ミュージアム入館料（第1回の講義で説明します）